

知っていますか？

学校の今後

Vol.2



前回は、市内の児童生徒数と学級数の推移についてお知らせしました。今回は、現在の市内の各公立小中学校の児童生徒数・学級数と学校施設についてお知らせします。

小中学校の現状

広報くわな6月号でお知らせしたとおり、市内の児童生徒数は減少傾向にあります。令和4年度～12年度の9年間で2000人弱の児童生徒数が減少(約17%減)すると予測されています。

左の表は、悠分校を除く、市内の公立小中学校の児童生徒数・学級数などです。これを見ると、全学年でクラス替えができ、学校教育法施行規則で示されている適正(標準)規模(12学級以上18学級以下)の小中学校

令和4年度の公立小中学校児童生徒数・学級数・築年数

(悠分校を除く)※令和4年5月1日時点

- 小学校
 - 複式学級が存在(小規模校)
 - 全学年1学級(小規模校)
 - 学年によっては1学級の学年がある(小規模校)
 - 全学年2学級以上(適正(標準)規模校)

小学校	全児童数(人)	学級数※	築年数
日進小	231	9	53
精義小	174	6	60
立教小	124	6	52
城東小	61	5	27
益世小	374	13	52
修徳小	334	12	53
大成小	483	15	44
桑部小	219	7	47
在良小	362	12	51
七和小	323	12	50
久米小	265	11	49
深谷小	117	6	43
城南小	440	13	42
大和小	109	6	51
大山田東小	830	26	43
大山田北小	592	18	40
大山田西小	101	6	37
大山田南小	262	10	31
藤が丘小	384	12	27
星見ヶ丘小	286	12	21
多度中小	416	14	40
多度東小	46	5	45
多度青葉小	78	6	46
多度北小	67	6	40
長島北部小	114	6	44
長島中部小	397	14	51
伊曾島小	163	6	43

- 中学校(特別支援学級は除く)
 - 学年によっては3学級以下の学年がある(小規模校)
 - 全学年4学級以上(適正(標準)規模校)

中学校	全生徒数(人)	学級数※	築年数
成徳中	207	6	55
明正中	495	13	58
光風中	370	12	46
陽和中	385	12	35
正和中	368	10	47
陵成中	726	18	40
光陵中	505	13	33
多度中	358	10	47
長島中	348	9	18

は27校中、半数以下の12校しかありません。また、中学校では全学年でクラス替えができる学級数は確保されていますが、適正(標準)規模の学校は、9校中5校です。

現在、多度地区においては、4つの小学校と中学校を一つにする小中一貫校の整備を進めているところですが、今後各学校の児童生徒数が減りつづけると

- クラス替えができず、新たな気持ちでリスタートできない
- 友だち作りに広がりがない
- 社会性やコミュニケーション能力

を身に付けにくい

- 体育の球技や音楽の合唱など集団学習が難しくなる
- 配置される教員数が減り、児童生徒へのきめ細やかな対応が難しくなる
- 教員1人あたりの校務負担や行事に関わる負担が重くなる
- 子どもたちの成長や、学校運営などの課題が表れる可能性があります。

また、悠分校を除く学校施設は、小中学校36校中28校が築40年以上経過している状況にあり、老朽化していく施設をどうしていくのかという問題も残っています。

子どもたちの未来のために

アンケート調査を実施します

現在子どもを小中学校に通わせている保護者の人はもちろん、入学を控える子どもたちの保護者やその祖父母、子どもたちを見守る地域の人の対し、子どもたちにより良い教育環境を提供するためのアンケート調査を実施します。子どもたちが通う学校がどうあるべきか。単に大人の都合だけではなく、子どもたちの未来のためにどのような学校の姿が望ましいかを一緒に考えていきましょう。アンケートへの皆さんのご協力をお願いします。



なお、アンケートの結果は広報くわなおよび市ホームページでお知らせします。

※アンケートは無作為に抽出した市民3000人に10月下旬ごろ郵送予定です。

問 教育委員会事務局 教育環境再構築プロジェクト担当(☎24-1249 FAX24-1358)

つなごう、わたしたちのまちで

まちづくり協議会の取り組みが広がっています。

まちづくり協議会ってどんな組織？

住民と地域のさまざまな団体(自治会、自主防災組織、PTA、企業など)が連携・協力しながら、地域の課題に取り組み組織です。みんなで話し合っ課題を整理し、将来の方針や計画を決め、その実現をめざします。

どんな取り組みをしているの？

現在、市内では9つの地区でまちづくり協議会が立ち上がり、各地区で特色のある取り組みを実施しています。今回はまちづくり協議会が実施する4つの取り組みを紹介します。

深谷まちづくり協議会



近くまで来てくれるからありがたいわ。交流の場にもなっているよ！

毎週金曜日に、移動販売車による高齢者の買い物支援を実施しています。深谷地区内の全自治会を巡回し、買い物に出かけられない高齢者の支援を行っています。

城東まちづくり協議会



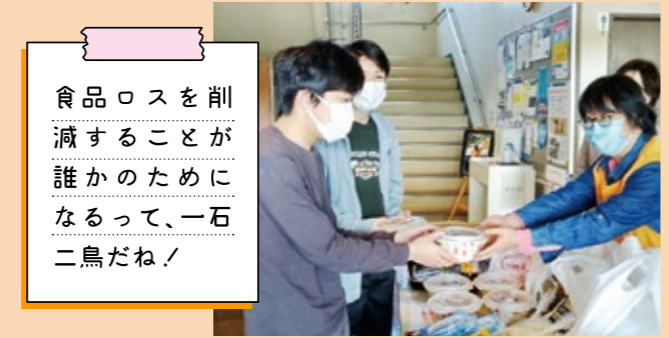
スマホを使って運動ができるようになって、楽しい！

高齢者の人を対象に、楽しく学べるスマホ教室とスマホを使ったオンラインウェルネス教室を開催し、定期的な運動機会の確保に取り組みました。



問 地域コミュニティ課(☎24-1204 FAX24-1735)

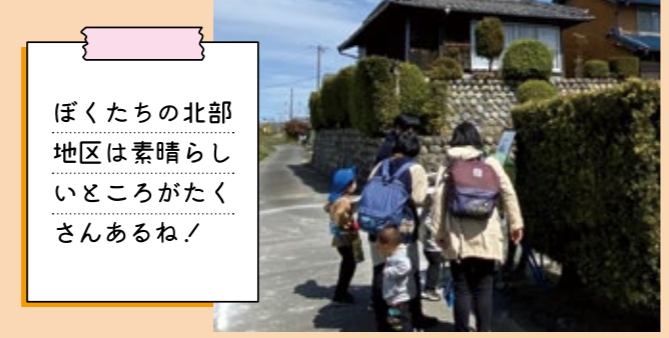
城南まちづくり協議会



食品ロスを削減することが誰かのためになるって、一石二鳥だね！

家で眠っているインスタント食品、缶詰、お菓子などの寄付を受け付け、必要とする人にお譲りしています。毎月第1金曜日に活動し、食品ロス削減に向けて頑張っています。

長島北部まちづくり協議会



ぼくたちの北部地区は素晴らしいところがたくさんあるね！

スタンプラリー形式で、地区内の歴史や文化を学ぶウォークラリーを開催しました。年代を問わず地区内外から230人が参加し、地域の魅力を「再発見」することができました。